

スズキ、インドで 2 か所目のバイオガス・プラントの開所式を開催



スズキ株式会社（以下「スズキ」）とスズキのインド子会社 Suzuki R&D Center India Private Limited（以下「SRDI」）は、2026 年 1 月 18 日に、グジャラート州バナスカンタ地域ブカラに建設したバイオガス・プラント「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」の開所式を開催しました。

当プラントは、2025 年 12 月に開所式を行ったアグサラに次ぐ、2 か所目のバイオガス・プラントです。CNG 車の燃料用バイオガス (CBG) の生産・販売を行うとともに、バイオガス発生後の牛糞を有機肥料として販売します。

スズキは SRDI を通じて、2023 年 9 月に National Dairy Development Board（全国酪農開発機構、以下「NDDB」）、乳業組合 Banas Dairy（本社：グジャラート州）と共に、これまでに稼働開始した 2 つのプラント（アグサラ、ブカラ）を含め、5 つのバイオガス・プラントの建設に合意しています。

1 月 18 日に執り行われた開所式には、グジャラート州のアチャリヤ・デッヴラット知事をはじめ、Banas Dairy のシャンカール・チョードリー会長兼グジャラート州議会議長、スズキのバイオガス事業本部長 豊福健一朗常務役員が出席しました。

カーボンニュートラル燃料であるバイオガスは、インド乗用車市場の約 2 割を占める CNG 車の燃料として使用可能で、温室効果ガスの排出抑制に貢献します。また、バイオガス・プラントの稼働により、エネルギー自給率の向上、新たな雇用創出、牛糞を買い取ることによる農村所得や生活水準の向上につながります。

スズキは、インドの成長とカーボンニュートラルの両立に貢献出来るよう、引き続きバイオガス事業に取り組んでまいります。

● 「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」 概要

所在地 グジャラート州バナスカンタ地域ブカラ

面積 約 27,000m²

牛糞取扱量 最大約 100 トン／日

バイオガス生産量 約 1.5 トン／日※

※CNG 車約 850 台が 1 日に走行するために必要な燃料の量に相当

CNG 車の燃費を 33.47 km/kg (ワゴン R CNG 車のカタログ値)、1 日の走行距離は 60km と想定

以上